

## 人と自然にやさしい電気自動車 (EV) の導入

関西国際空港株式会社グループでは初めて、走行中の CO<sub>2</sub> の排出がない電気自動車 (EV) を導入します。

関西国際空港は、「公害のない、地域と共存共栄する空港づくり」を原点とし建設され、空港運営にあたっては「関西国際空港環境管理計画 (エコ愛ランド推進計画)」を策定し、空港島内の事業者とともにさまざまな環境施策を進めています。

その取組項目の一つとして、「低公害車の導入促進」を掲げ、水素自動車の導入や、電気自動車用高速充電器の設置などを行ってきました。今回の電気自動車の導入は、これらをさらに活性化させ地球環境負荷の軽減に貢献するものです。

これからも、人と自然にやさしい空港をめざして、引き続き積極的な環境施策を推進してまいります。

導入車両	日産リーフ (下図参照)
導入台数	2 台 (1 台目の運用開始は 10 月 1 日、2 台目は 12 月頃を予定)
常置場所	関西国際空港会社ビル前駐車場
充電方法	駐車場に充電スタンド 1 基を設置 (最大 4 台まで同時充電可能。当初は 2 台)
使用用途	関西国際空港株式会社グループ共用の業務用車両



(参考写真) 日産自動車ホームページ  
<http://ev.nissan.co.jp/LEAF/EXTERIOR/>